

施策評価シート(令和元年度)

(基本施策の大綱) 1. 快適さを支える生活基盤の向上

(基本施策) (3) 上下水道の充実

(評価担当者)

上下水道部長 宮崎 哲二

■ 基本施策が目指す姿

市民が、良好な水環境の中、おいしい水を利用しています。

■ 関連する分野別計画

亀山市新水道ビジョン

■ 成果指標

		単位	現状値		実績値					目標値
					H29	H30	R1	R2	R3	
1	上水道の有収率	%	89.2	H27	90.8	91.2	88.8			92.6
2	汚水処理人口普及率	%	86.2	H27	88.0	88.2	88.3			90.0
3	水道事業会計の経常収支比率	%	109.07	H27	108.59	120.39	122.92			110.00
4	公共下水道事業会計の経常収支比率	%	103.19	H27	102.92	103.95	102.50			100.00
5										

■ 市民アンケート調査

項目			現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	安全でおいしい水が供給されている	重要度	1.60	1.61		
		満足度	0.96	1.05		
2	生活排水が適正に処理されている	重要度	1.48	1.42		
		満足度	0.66	0.71		
3		重要度				
		満足度				
4		重要度				
		満足度				
5		重要度				
		満足度				

■ 総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B	安全でおいしい水の安定供給については、配水管等の更新・耐震化、水量水圧不足解消対策を計画的に進めるなど施策の推進が図れている。生活排水対策の推進については、公共下水道の計画的な整備による汚水処理人口普及率や下水道事業のPRIによる下水道への接続率が向上している。農業集落排水事業では、最適整備構想策定の中で処理施設の統合・公共下水道への接続について検討を行うなど施策の推進が図れている。上下水道事業の健全経営については、水道事業経営戦略の作成、口座振替やクレジット収納のPRIによる財源確保に努めるなど、施策の推進が図れている。個別の判定では、1施策の方向でA、2施策の方向でBとしている。また、上水道・公共下水道の有収率が前年度を下回ったことから、総合判定をBとした。
まずまず進んでいる	
反省点・課題	
上水道事業については、水道施設や配水管等の老朽化対策や耐震化、震災対策を計画的に進めるために、有収率の向上、水道料金の収納率の向上を継続して取り組み、財源確保に努める必要がある。公共下水道事業の未普及地域の整備、施設の長寿命化及び農業集落排水事業の機能強化については、国庫補助金の活用により計画的・効率的に進めるとともに、下水道への接続の促進、有収率の向上、下水道料金の収納率の向上に努める必要がある。また、公共下水道事業区域、農業集落排水施設の統合や公共下水道への接続などの汚水処理計画「生活排水処理アクションプログラム」を見直す必要がある。	

今後の展開方針

上水道事業については、亀山市新水道ビジョンに基づき、水道施設や配水管等の更新・耐震化・震災対策を進めるとともに、口座振替、スマートフォンアプリによる収納を促進し財源確保に努める。また、老朽管の更新・漏水調査・修繕等により有収率の向上に努める。公共下水道事業については、亀山市公共下水道事業計画に基づき、未普及地域の整備を進めるとともに、亀山市公共下水道管路施設長寿命化計画の次期計画を策定し整備を進める。これらを計画的に進めるために各種補助事業を活用して財源確保に努める。農業集落排水事業については、補助事業を活用し施設の更新等を行うために、機能強化対策事業計画を策定する。公共下水・農業集落排水・浄化槽等の汚水処理計画の見直しを行い効果的な整備を推進する。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		安全でおいしい水の安定供給							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】				
B	活動	安全でおいしい水の安定供給のため、老朽管の更新と耐震化に努めるとともに、太岡寺配水池に応急給水設備を設置した。また、関第2水源系の基幹管路の一部を耐震化した。更に、水量水圧不足解消を図るため、川崎加圧ポンプ室を完成させ、供用開始した。			評価	水道管及び水源地等の施設整備の計画的な更新と耐震化を図ることや加圧ポンプ施設等の整備により、水量水圧不足の解消を図ることで、安全でおいしい水の安定供給につながっているが、成果指標である「上水道の有収率」については前年度を下回った。			
		まずまず進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17011	水道生活基盤整備事業			主	195,165 / 184,839		A	A
	19003	水道施設耐震化整備事業			主	10,000 / 9,834		A	A
事業以外の取組	内容							活動	成果

施策の方向		生活排水対策の推進						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】				
B	活動	公共下水道施設整備事業については、計画どおり未普及地域の管路整備を実施した。長寿命化対策事業については、第1次計画が概ね完了し、第2次計画の策定に向けての準備を進めた。農業集落排水施設機能強化事業については、施設の機能診断調査の結果を基に最適整備構想を計画どおり策定を行った。		評価	公共下水道施設整備事業は、管路整備に加え、みずきが丘団地を公共下水道に接続し普及率は計画どおり進捗が図れた。長寿命化対策事業は整備率の目標を達成しており、施設の適正な維持管理が行えた。農業集落排水施設機能強化事業は、施設の有効活用とライフサイクルコストの低減を図るための最適整備構想が策定できた。			
まずまず進んでいる								
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17012	公共下水道施設整備事業		主	658,570 / 645,900		B	B
	17013	下水道管渠長寿命化対策事業(みどり町、みずほ台地区)		主	115,740 / 113,259		B	B
	17014	農業集落排水施設機能強化事業		主	20,000 / 18,920		A	A
事業以外の取組	内容						活動	成果

施策の方向		上下水道事業の健全経営						
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できているか】			
A	活動	上水道事業については、平成30年3月に策定した新水道ビジョンに基づき、水道水の安定的な供給と健全な事業運営に努めた。また、クレジット収納など水道料金納付の利便性の向上を図った。 公共下水道事業及び農業集落排水事業について、経営戦略に基づき、持続的な経営確保に向け、経営基盤の強化などの向上を図った。			評価	上水道事業について、平成30年4月からの料金改定により、事業の計画的実施に必要な財源を確保することができ、継続的な健全経営に取り組むことができた。公共下水道事業及び農業集落排水事業について、経営戦略に基づき、安定的な事業運営の継続に向け取り組むことができた。		
		順調に進んでいる						
関連事業	番号	事務事業の名称			区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
						/		
						/		
事業以外の取組	内容						活動	成果
	亀山市水道事業・工業用水道事業経営戦略策定						A	A